

(総務委員会) 27年度事業計画

観光による地域の活性化を目指して、国、県、市および関係団体などとの連携を図り、下記について実施したい。

1. 協会事業全体に対する総合的な企画及び調整。
2. 国、県、市及び関係団体の事業への参加を通じて下呂温泉の情報発信と収集。
3. 広域観光の推進を目指して周辺地域、関係機関との連携。
4. 濃飛横断自動車道、リニア・エクスプレス中央新幹線「中津川駅」からのアクセス整備。
5. 「MICE」(Meeting、Incentive、Convention、Event/Exhibition) による誘客促進。
6. 下呂温泉のランドマークとなる外湯施設などの建設推進。
7. 飛騨・美濃じまんキャンペーン、ウェルネスツーリズムなどとの連携。
8. インバウンド推進を図る岐阜県の空港整備やアクセス充実のための諸活動。
9. 温泉を活かした健康保養地づくりの促進。
10. 下呂交流会館コンベンション活用。
11. JR高山本線強化促進のための諸活動。
12. 下呂市並びに下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合等関係団体との連携の強化。
13. 県及び近隣観光協会及び商工会、市内観光協会連絡協議会など関係団体との連携。
14. 日本三名泉有馬・草津と韓国儒城との交流、情報交換。
15. 下呂温泉まつりの共催。
16. 市、市議会および行政機関、教育機関との意見交換会などの開催。
17. 日本文化の継承を図り、芸妓芸能の育成。
18. 防犯活動の推進。
19. 観光関係功労者、優良従業員の表彰。
20. 会費、負担金の検討。
21. 下呂市観光協会連絡協議会の事業。
22. 下呂温泉観光協会だよりの発行。
23. 会員の拡充を計る。

## (誘致宣伝委員会) 27年事業計画

昨年度は、残念ながら昭和46年以降、震災を除き下呂温泉宿泊客は100万人を下回ってしまいました。消費税アップ、バスの規制による団体客の減、ガソリンの高騰、高速料金の割引廃止、御嶽山の噴火、週末の天候不順など大変な1年であったことは間違いありません。それに加えてまだまだ低価格競争など下呂温泉を取り巻く環境は厳しく、先行き不安な要素が多々ありますが、安倍政権の地方再生にあわせて官民一体となって元気な下呂温泉をアピールし地域の活性化に向けた取り組みを実施して参ります。

誘致宣伝委員会では、各方面からの入込状況などの調査を引き続き進めて参ります。誘致事業においては、本年度もネット、ラジオ、テレビなどを活用した広告宣伝を行い、関東・東海・北陸・関西・中国・九州方面に至るまでの広範囲にわたったキャラバンを実施します。

1. 旅行形態についての分析、マーケティング
2. 全国各地へのキャラバンの実施
3. 中部運輸局・岐阜県・岐阜県観光連盟との連携
4. JR東海はじめ旅行業者との連携
5. 宣伝用印刷物・販促物の作成とマスメディアに対する広告出稿
6. インターネットによる情報発信事業
7. 下呂市、下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合、下呂市観光協会連絡協議会、  
下呂市観光客特別誘致対策協議会との連携
8. MICE(マイス)による観光客誘致の促進(交流会館、コンベンションビューローとの連携)
9. インバウンド事業の促進
10. ドライブ旅行の誘致対策
11. 着地型旅行商品の積極的な取り組み
12. 下呂温泉ふるさと観光大使に掛かる事業



企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字をとった造語である。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

#### (まちづくり委員会) 27年度事業計画

本年度は第一にまちづくりを重点的に進めていきます。昨年関係各位にお集まり頂き、素肌美人プロジェクト会議(外湯)を開き、太田広先生に下呂にしかないもの、下呂に来なければ体験できないものは何かをしっかりと勉強させていただきました。27年度はそれを実現する年であると考えております。当然市当局、議会と連携しながら進めて参ります。

また環境整備事業として植樹・清掃活動などを行い、顔だし看板、トリックアートなど魅力ある観光地づくりを目指し、おもてなしの心の向上を図って参ります。

新しい時代の温泉地として、街並整備、名所作りは重要な要素の一つです。美しい街は訪れたお客様への最大の「おもてなし」と考えます。行政、各種団体の連携を図り下記の事業を実施し、温泉地としての「魅力あるまちづくり」について推進していきたい。

1. まちづくり、まち歩きの推進
2. 花木の植栽と定期的な管理
3. 飛騨川・国道41号線クリーン大作戦の実施
4. 四季を通しての名所作りの推進
5. 交流研修委員会との協力

#### (交流研修委員会) 27年度事業計画

お越し頂いたお客様のご満足度を上げていくことが重要であると考えます。そこで、魅力ある温泉地づくり、街づくり等の為に研修事業を実施したい。

また、市内の観光資源、周辺観光地などお客様への細やかなご案内ができるよう、協会員(接客担当者)などを対象とした視察研修も実施したい。事業については「まちづくり委員会」と連携して実施したい。

1. 温泉地づくり、街づくり等の研修を開催
2. 市内外の観光資源の視察などの「おもてなし研修会」の開催

## (おもてなし委員会) 27年度事業計画

数ある観光地・温泉地の中より、下呂温泉を選んでお越しいただきたい。また、お越しいただいたお客様に、より大きな喜びや満足を感じていただきたい。

「心のふれあい」こそが観光の魂と考え、以下のイベントを心を込めて行っていきます。  
訪れて良かったと心から思っていただけの下呂温泉にし、リピーターの増加を図りたい。

1. 下呂温泉いでゆ夜市  
7月18, 25日・8月4, 8, 15, 22, 29日(各土曜日、8/4のみ火曜日)  
計7回開催予定
2. 歌塚供養祭 8月4日(火)
3. 歌塚歌謡祭 8月4日(火)
4. キャンドルイルミネーション 12月24日(木)
5. 農林業との連携
6. JR東海「さわやかウォーキング」への協力
7. 温泉街の各種イベントへの協力

## (青年部) 27年度事業計画

旅館の耐震問題など、観光業界の問題は山積しております。このような時こそ私達青年部は、諸先輩方より様々な事を学び、勉強しなければなりません。

今後もリニア・東京オリンピックなど明るい話題はあり、先人が築きあげた「下呂温泉」を、今まで以上に知名度をあげ、郷土の観光資源を最大限に生かし、誘客に積極的な活動をしていきたいと考えております。

又私達青年部は、様々な業種の仲間がおります。様々な視点からの情報を交換し合い、少しでも地域の為に尽力できるよう、各諸団体とも連携を取りながら青年部活動に取り組んでいきましょう。

1. 下呂温泉観光協会の諸事業への協力
2. 下呂温泉への誘客キャラバン
3. 下呂温泉の街並み整備に関する調査研究  
・花木の植栽や消毒、肥料やり
4. 下呂温泉花火ミュージカル冬公演実行委員会への参画
5. 部員拡大